

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer ご使用上のお願い

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer の使用上の注意事項を連絡します。

- RX200シリーズ FINE (注) 接続中のタイムアウトに関する注意
- RXファミリ切断時のモードピンに関する注意
- COMx接続に関する注意

1. RX200シリーズ FINE (注) 接続中のタイムアウトに関する注意

1.1 該当バージョン

Renesas Flash Programmer V2.01.00

1.2 該当MCU

RXファミリ RX200シリーズ

1.3 内容

FINE (注) 接続中に通信不良により以下が表示された場合、それ以降は再接続できません。

エラー (E1017023) : E1/E20接続時にタイムアウトが発生しました。
なお、「Genericデバイス問い合わせ」ダイアログ表示中に同じエラーが発生した場合は、再接続できます。

1.4 回避策

E1またはE20エミュレータからUSBケーブルを抜き差しし、Renesas Flash Programmerを再起動してください。

1.5 恒久対策

V2.03.00 (2013年9月末日リリース予定) で改修予定です。

注: 「FINE」とは、マイコンのFINE端子を使用した1線式または2線式の通信インタフェースです。「使用するマイクロコントローラ」として「RX200(FINE)」を、「使用ツール」として「E1/E20」を選択します。Renesas Flash Programmerでは、2線式通信に対応していません。

2. RXファミリ切断時のモードピンに関する注意

2.1 該当バージョン

Renesas Flash Programmer V2.01.00

2.2 該当MCU

RXファミリ

2.3 内容

2.4項の該当条件で作成されたプロジェクトにおいて、プロジェクトの「使用ツール」を「E1またはE20」に変更すると「プロジェクト設定情報一覧」の「その他の設定」タブにある「切断時のモードピン」カテゴリが表示されません。

2.4 該当条件:

- (1) 「使用するターゲット・マイクロコントローラ」リストボックスで「RX」を選択
- (2) 「使用ツール」リストボックスで「COMx」または「USB Direct」を選択

2.5 回避策

「ファイル」メニューのプルダウンから「ワークスペースを開く」を選択してワークスペースファイルを開きなおしてください。

2.6 恒久対策

V2.03.00 (2013年9月末日リリース予定) で改修予定です。

3. COMx接続に関する注意

3.1 該当バージョン

Renesas Flash Programmer V1.03.00、V1.03.01、V2.00.00、V2.00.01、およびV2.01.00

3.2 該当MCU

RL78/G10 および RL78/G12グループ
(リセット端子をリセット以外の機能でも使用できるマイコン)

3.3 内容

オプションバイト(000C1H)のPORTSELB値が"0"のプログラムファイルが書かれたマイコンに対し、ホストPCのCOMポートを使用した接続で、

任意のコマンドを実行すると、下記エラーが発生し、
フラッシュ・メモリ・プログラミング・モードに遷移できません。

- ・エラー(E1000001) : COMx通信タイムアウト
- ・エラー(E1002004) : コミュニケーション、またはタイムアウト・エラー

3.4 回避策

ホストPCのCOMxポートを使用して接続する場合は、PORTSELB値が"0"のプログラムファイルをマイコンに書き込まないでください。

PORTSELB値が"0"のプログラムファイルをマイコンに書いて使用する場合は、COMxポートを使用して接続するのではなく、USBケーブル経由でE1またはE20をホストPCと接続してください。

3.5 恒久対策

V2.03.00 (2013年9月末日リリース予定) で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。